

普及・地域の話題

熱海でヒラメ稚魚の放流が行われました。

平成 24 年 5 月 24 日、大熱海漁協は、熱海市曽我浦沖と伊豆山沖でヒラメ稚魚の放流を行ないました。放流に際しては、熱海市立第二小学校の 5 年生 58 人と伊豆山小学校の 4、5 年生 31 人が参加し、放流体験を楽しみました。大熱海漁協では、海の資源を守ることの大切さを地域の子供たちに学んでもらうため、毎年、両校の児童の参加を得ています。

この日放流したヒラメ稚魚は、静岡県温水利用研究センターで育成した平均全長 33 mm の種苗を、平成 24 年 4 月 26 日から大熱海漁協近くに設置した陸上水槽で中間育成してきたもので、放流時の平均全長は 74 mm でした。

当场では、放流に先立って、両校の児童達にヒラメの生態や漁業などに関する説明を行ないました。児童達からは、ヒラメの食べ物、寿命、ヒラメとカレイの見分け方などの質問が相次ぎ、児童達がヒラメなどの海の生き物に強い関心を持っていることが、ひしひしと伝わってきました。

熱海市上多賀においても、4 月 26 日から陸上水槽にてヒラメ稚魚の中間育成を行ないましたが、残念なことに 5 月 2～3 日の大雨で裏山が崩れ、大量の土砂が海に流れ込み中間育成が困難になったため、5 月 18 日に緊急放流を行いました。また、今年は熱海市網代においても 4 月 26 日からヒラメ稚魚の中間育成を行い、5 月 23 日に平均全長 60 mm で放流が行われました。（海野幸雄）



写真 1 ヒラメについて説明



写真 2 放流したヒラメ稚魚



写真 3 放流



写真 4 放流